

〒150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1日本体育協会

スポーツ指導者育成部(スポーツドクター・AT担当)行

出席確認カード在中(9th JOSKAS)

【送付用1/2】

FAX送信先: 03-3481-2284

送付期限:2017年7月7日(金)

※郵送の際は、上記を切り取ってご使用ください。

日本体育協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー 義務研修
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (9th JOSKAS)

出席確認カード

登録番号 (7桁)							生年月日 (西暦)
フリガナ							
氏名							年 月 日
保育資格 (○をつけてください)		公認スポーツドクター					
		公認アスレティックトレーナー (JASA-AT)					

<指定演題>

<6月22日(木)>

No.	開始時刻	終了時刻	時間	会場	セッション形式	演題	聴講
1	9:00	10:00	60分	第1会場	特別講演1	JOSKAS四天王は語る。これまでに成し遂げたこと、次の世代に託すこと	
2	9:00	10:30	90分	第2会場	シンポジウム 1	肩鏡視下手術の限界とその対策	
3	10:00	11:00	60分	第1会場	招待講演1	Sports medicine my personal experience Sports Medicine: my personal experience on the way to pursuing	
4	10:30	12:00	90分	第2会場	シンポジウム 2	肩関節周囲外傷に対する鏡視下手術	
5	11:00	12:00	60分	第1会場	特別講演2	JOSKAS四天王は語る。これまでに成し遂げたこと、次の世代に託すこと	
6	11:00	12:00	60分	第3会場	医療安全講習会1	上肢(手・肘)関節鏡視下手術合併症から学ぶ医療安全	
7	12:15	13:15	60分	第1会場	ランチョンセミナー1	膝ACL再建術 -Joint Instability Measurement Interfaceの開発経験より-	
8	12:15	13:15	60分	第2会場	ランチョンセミナー2	スポーツ選手(投球障害は除く)における肩周疼痛:原因と治療法	
9	12:15	13:15	60分	第3会場	ランチョンセミナー3	ジャックを用いた膝関節軟骨欠損治療の最新線	
10	12:15	13:15	60分	第5会場	ランチョンセミナー4	3-Dコンピュータモデルの解析からみた膝蓋骨脱臼のとらえ方とその治療戦略	
11	12:15	13:15	60分	第6会場	ランチョンセミナー5	骨・軟骨再生医療の展望	
12	12:15	13:15	60分	第7会場	ランチョンセミナー6	運動器疼痛における薬物治療	
13	13:30	15:00	90分	第3会場	パネルディスカッション 3	運動器障害のアスレティックリハビリテーション	
14	13:30	15:00	90分	第5会場	シンポジウム 4	スポーツ障害肘 -復帰に向けての手術治療-	
15	14:00	15:00	60分	第1会場	招待講演2	Biological strategy for healing and fixation in ACL surgery Enhancing of tendon to bone healing in ACL reconstruction	
16	14:00	15:00	60分	第2会場	教育研修講演1	同種IPS細胞を用いた関節軟骨損傷に対する再生治療法の開発	
17	15:30	16:30	60分	第3会場	おやつセミナー1	足部スポーツ障害に対する体外衝撃波治療の実践	
18	15:30	17:00	90分	第1会場	パネルディスカッション 1	ACL再建術後の動的不安定性残像の撲滅を目指して	
19	15:30	17:00	90分	第2会場	シンポジウム 3	関節の再生医療 2017	
20	15:30	17:00	90分	第5会場	シンポジウム 5	学童期野球肘検診の普及とそれに伴う問題	

次ページも必ずご覧ください。

< 6月23日（金） >

No.	開始時刻	終了時刻	時間	会場	セッション形式	演題	聴講
21	8:00	9:00	60分	第2会場	モーニングセミナー	変形性膝関節症の病態と治療アップデート：早期変形性膝関節症	
22	8:40	10:10	90分	第1会場	シンポジウム 6	膝離断性骨軟骨炎これからどうする	
23	9:00	10:00	60分	第3会場	招待講演3	The Korean Trend of Supramalleolar Osteotomy Supramalleolar osteotomy for varus ankle osteoarthritis	
24	9:00	10:00	60分	第5会場	医療安全講習会2	日本整形外科学会の内視鏡視下技術認定制度と合併症調査から学ぶ医療安全	
25	10:20	10:50	30分	第1会場	特別講演3	JOSKAS四天王は語る。これまでに成し上げたこと、次の世代に託すこと	
26	10:30	12:00	90分	第3会場	パネルディスカッション 8 【English】	膝蓋骨不安定症における State of Art	
27	11:00	12:00	60分	第1会場	特別講演4	折れない心 ～様々な怪我や困難を乗り越えて～	
28	12:15	13:15	60分	第1会場	ランチョンセミナー7	変形性膝関節症に対する最新のHybrid Closed Wedge High Tibial Osteotomy	
29	12:15	13:15	60分	第3会場	ランチョンセミナー9	Pain from the Joint: More to it than just structural damage	
30	12:15	13:15	60分	第6会場	ランチョンセミナー12	変形性膝関節症にならないためのACL再建術	
31	12:15	13:15	60分	第7会場	ランチョンセミナー13	変形性膝関節症の早期診断と治療戦略	
32	12:15	13:15	60分	第8会場	ランチョンセミナー14	テープ型縫合材の使用が腱板断端内に与える効果：3次元有限要素解析法による検討 HEALICOIL RG アンカー-ULTRATAPE付の臨床使用経験	
33	14:00	15:00	60分	第1会場	教育研修講演2	奈良の膝と共に	
34	15:10	15:40	30分	第5会場	SFA Session	Posterior shoulder instabilities: a SFA multicentric study.	
35	15:10	16:10	60分	第1会場	招待講演4	UKA vs. Oteotomy in Medial Compartment Arthritis of Young Active Patients Concomitant Ligament Reconstruction with HTO in ACL deficient varus Knee	
36	15:10	16:10	60分	第3会場	おやつセミナー2	Biologic Orthopedics in 2017: The Rapidly Evolving Horizon	
37	15:10	16:10	60分	第2会場	SIGASCOT・JOSKAS Traveling Fellowship	残存する動的不安定性の撲滅のためのPivot shift testの客観・定量的評価 野球選手の胸郭出口症候群(TOS)を伴う肘内側側副韌帯(UCL)損傷	
38	16:20	17:50	90分	第1会場	パネルディスカッション 4	未来志向の膝周囲骨切り術	
39	16:20	17:50	90分	第2会場	パネルディスカッション 7	陳旧性足関節外側靱帯損傷に対する手術治療 ー鏡視下手術はgold standardになり得るかー	
40	16:20	17:50	90分	第3会場	パネルディスカッション 9 【English】	すべてが分かる半月板損傷の治療	

< 6月24日（土） >

No.	開始時刻	終了時刻	時間	会場	セッション形式	演題	聴講
41	9:00	10:30	90分	第1会場	パネルディスカッション 10	ACL損傷の予防プログラムの臨床的評価と予防法への新しいアプローチ	
42	9:00	10:30	90分	第2会場	パネルディスカッション 11	早期変形性膝関節症の診断 どれぐらい早期に診断できるのか	
43	9:00	10:30	90分	第3会場	シンポジウム 8	足部足関節の疲労骨折の診断と治療	
44	10:30	12:00	90分	第1会場	シンポジウム 7	変革するスポーツ診療 超音波診断装置の威力	
45	10:30	12:00	90分	第3会場	シンポジウム 9	アスリートの股関節痛 鑑別診断と治療	
46	11:00	12:00	60分	第2会場	医療安全講習会3	関節鏡視下手術合併症から学ぶ医療安全	
47	12:30	13:30	60分	第1会場	ランチョンセミナー15	関節症跡を含む半月板損傷に対する治療戦略	

合計時間： 分

< ネームカード貼付欄 >

※必ず学会ネームカードのコピーを貼付してください。参加証、領収書、領収書控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
※JASA-ATはBLS 資格の認定証（写）を併せて貼付してください。貼付がない場合、義務研修の実績になりません。